

行田中 こだま

第251号 平成28年12月22日発行

ロードレース大会	1
第67回体育祭	2・3
いちよの集い	4・5
特集 子どもの安全を考える シリーズⅢ	6・7
P.T.A活動等	8



ロードレース大会 10/20(木)



**向かい風の中、走るぜっ！
青春ど真ん中！！**

10月とは思えないような照りつける日差しの下、校内ロードレース大会が行われました。行中グラウンドをスタートし、学校周辺の道を3km、仲間と競い、力の限り走りきった生徒たち。心にはいつも『行中魂！』。向かい風を乗り越えて、懸命に走る姿には、見えて感動を覚えました。



第67回行田中学校

体育祭 9/17(土)

真夏を思わせる陽気の中、1人1人が各競技に全力で取り組みました。力を出しきった生徒たち、最後は笑顔で、お互いの健闘をたたえ合っていました。

見せろ 団結 勝ち取れ 栄冠 力の限り 全力で

優勝

1年3組

2年1組

3年2組

クラスがひとつ

体育主任 五十嵐 元子

今年も天候の悪い日が続き、体育館内の練習が多く、他のクラスと競って練習することがなかったので心配でした。しかし、心配していた競技は応援の声に後押しされて、白熱した競技になっていました。特に、学年種目は各クラスが一丸となって練習の成果を出そうとクラス全員が真剣でした。一年のバンブーサーフィン。二年の長縄。三年の大ムカデ。それぞれが精一杯走り、跳びました。正に、クラスがひとつになった瞬間でした。



1年 バンブーサーフィン



3年 大ムカデリレー & 綱引き (全学年別)



2年 長縄跳び



体育祭を無事に終えて

実行委員長 小山内 萌華

今年の体育祭は、練習期間が短く、競技がちゃんとできるか不安でしたが、行中生全員で最後まで全力で競技に取り組みましたので良かったと思います。また、優勝クラスだけではなく、すべてのクラスが同じように、喜びを感じられたと思います。行中魂が発揮できたすばらしい体育祭になって良かったと思います。



奏でろ！ハーモニー
誘え！感動の涙
見せつけろ！僕らの行中魂

いちようの集い

10月22日(土) 合唱コンクール

10月22日と28日の2日間、「いちようの集い」が開催されました。
1日目は、合唱コンクールと花咲徳栄高校吹奏楽部による素晴らしい演奏とパフォーマンス。
2日目は、地域の皆様のご指導のもと、18講座の体験学習を行いました。
とても充実した思い出に残る「いちようの集い」でした。



花咲徳栄高校吹奏楽部による演奏



最優秀賞 3年4組

審査結果
最優秀賞 3年4組「信じる」
優秀賞 1年3組「大切なもの」
2年2組「明日へ」
3年1組「はじまり」



全校合唱「時の旅人」



職員合唱団



PTA合唱団



指揮者賞

1年 逸見 心乃さん
2年 田口 翔麻さん
3年 綿貫 花音さん



伴奏者賞

1年 塩田 美玖さん
2年 野中 紀歩さん
3年 阿久津公美さん

合唱で心豊かに
音楽担当 戸川 純子

全員で一つのものに取り組む難しさは生徒たちも分かっている。でも皆でいい合唱をつくりたいと思っている。そこから生まれる感動を何より味わいたいのではないかと思う。

合唱コンクール、生徒たちはよくがんばったと思います。本気で歌う姿は美しいものです。行中生が歌うことを通してたくさんの感動体験をし、心豊かになってくれたらと願っています。

保護者の皆様にも大変お世話になりました。PTA合唱団も素敵でした。

いちようの集いを 終えて
実行委員長 高橋 美優

今年の「いちようの集い」は、体育祭に続き、中間テスト、ロードレースなどの一大行事が終わった直後でした。限られた時間の中、実行委員を中心に、準備や合唱練習に取り組みました。

合唱コンクール本番は、どのクラスも心を一つに一生懸命に歌うことができました。

芸術鑑賞会や体験学習も貴重な体験ができました。

委員長としてやってきて大変なこともありましたが、みんなのおかげで大成功させることができました。

10月28日(金) 体験学習



行中生を代表して

9/30

北埼玉地区中学校
英語弁論大会

『Our strongest weapon』

—私たちの最強の武器—



阿部千裕くん

7/21~7/27

オーストラリア研修

ホームステイ 現地校での授業体験
シドニー観光を体験



阿久津公美さん

川上美吹さん

綿貫花音さん

海外派遣研修を通して英語力のなさを実感したり、日本と違う文化や食を体験しました。日本の良さを再発見することができました。貴重な体験で学んだことをこれからの生活や将来に生かしていきたいと思っています。

(川上美吹)

11/12

浮き城のまち行田
第31回少年の主張
～みらい～

「未来に伝える」

忍郷友会長賞



久保田千裕さん

行田中学校には、保健室と職員室の中に **AED** が置かれています。

AED
Automated External Defibrillator



自動体外式除細動器



11/2 2年生 救命入門コース

～“勇気”と“知識”で大切な“命”を救おう！～



救急車の現場到着時間

全国平均 8.6分
行田市平均 7.6分

命が助かる可能性は時間の経過とともに減ってしまう…

心停止からの救命率
1分経過 → 約10%低下
5分経過 → 約50%低下

その場に居合わせた人が心肺蘇生法とAEDを行うことで

救命のチャンスをぐっと高められる!!

2011年、さいたま市の小学校で、駅伝の練習中に倒れ、救急車到着まで十分な救命処置がとられずに亡くなってしまった桐田明日香さんの『命の記録MOVIE～ASUKA MODEL～』を視聴し、“命の尊さ”と“AEDを迷わず積極的に使うこと”の大切さを学びました。



救命の連鎖 (救命のリレー)

(山梨県都留市HPより)



ここが大事

いざという時、勇気をもって行動し、命のボタンを引き継ごう

●圧迫のポイントは

- 姿勢は垂直
- リズムは1分間に100回～120回
♪線路は続くよどこまでも～♪の歌のリズムくらい
- 強く・速く・絶え間なく!

各班に分かれ、訓練用人形と、心肺蘇生トレーニングキット(あっぱくん)を使い、実際の場面を想定し、一連の動きを全員が体験しました。

119番通報を! AEDを持って来てください!

大丈夫ですか!? 反応を確認!

1分・1秒でも大切! 迷わず、すぐに行動しよう!!

AEDには心電図解析があり、電気ショックが必要かどうかを知らせてくれるから安心!



力が足りないといと音が出ない!!

焦らず、電源をいれて、焦らず、アナウンスを聞こう!



<体験の感想>

- 自分たちでも、人の命が救えることが分かった。
- 胸骨圧迫とAEDで、たくさんの命が救える可能性が高まることを学んだ。
- 救急車到着まで、焦らず、恥ずかしがらずにこの授業を思い出して対応したい。

見学し、親として感じたこと

子どもたちは救急救命の大切さをしっかり学び、1人1人真剣に取り組んでいました。中学生で救命講習を受けた意義は大変大きいと感じました。

(広報部)

今回の「救命入門コース」は90分の受講でしたが、来年の夏頃に行田グリーンアリーナで行われる「普通救命講習」を120分追加受講することにより、消防本部認定の公的資格「普通救命講習修了証」を手にすることが出来ます! 行中生の皆さん、是非、積極的に受講し、救命法をバッチリ身に付けよう!!

子どもの安全を考える
2年生八十七名が五・六時間目の総合学習の時間に「救命入門コース」を受講・体験しました。当日は、消防署より救急救命士のみなさん、市内小・中学校の応急手当普及員の先生方から、「胸骨圧迫」と「AED(自動体外式除細動器)」の使い方をご指導いただきました。

AEDとは…心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態に対して電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。



8/20 親子除草



9/10 厚生部除草



除草活動を終えて
 「行中は、どうしてこんなに草が生えるんだろ?」
 校長先生が代わる度に聞かれます。私は他の中学の状況は分かりませんが、どうやら行中は、相当な「雑草天国」のようです。その行中を、雑草ではなく子どもたちが伸び伸びと育つ環境にするため、今年も厚生部は力を合わせて、除草活動を頑張りました。また夏休みには、多くの方々のご協力により、親子除草を行うことができました。本当にありがとうございました。雑草よ、少し休もう。

厚生部長 熊谷美紀

第3回 家庭教育セミナー 9/3 PTA研修旅行



第4回 家庭教育セミナー 11/5 ~ふだつとコンサート~

甘く透き通る声で全8曲を歌ってくださいました我が中学校の深野奈々先生。そのお隣でギターを弾き語ってくださいました南河原中学校の吉田明正先生。先生は体育を担当されていて、コンサート中にはユーモアセンスいっぱいトークとバク転で聴衆を沸かす一面面もありました。お二人の先生の心地良いJ・POPの歌声に忙しく送る日々の生活にホッとする時間をいただきました。コンサート終了後、今年度の家庭教育セミナーも無事終了となり、閉講式を行いました。



三校合同PTA人権教育研修会 10/15

「心の花を咲かせよう」と題した生涯学習文化財課の大塚成穂先生の講話を拝聴しました。心に響く歌詞を大塚先生のギターと歌で聞かせて頂き、「結果より過程を大事に」「自分を大切に」というメッセージに感動しました。

今の子どもは自己肯定感が低いので小さな成功体験を積み重ねてあげることが大切だと教えて頂き有意義な時間を過ごすことが出来ました。



大塚成穂先生

10/20 ロードレース大会

各学年の上位者

1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子
1位 飯塚 央翔	船橋 知夏	1位 岡安 一樹	近藤野乃華	1位 川端 颯音	小山内萌華
2位 平野 夢太	高橋 愛	2位 生出 誉	山崎 碧葉	2位 堀越 裕人	熊谷ひかる
3位 遠藤 大士	福島 葵	3位 内川 梨久	高橋 愛美	3位 松原 慧明	室田 朋美
4位 清水 朝日	山元 架音	4位 齊藤 優斗	林 望愛	4位 山下 湧大	吉野 紅音
5位 羽鳥 碧	舞原 小夏	5位 富岡 璃久	小林 亜弥	5位 津崎 裕介	綿貫 花音



編集 後記

昨年度からカラー紙に変更したことが特集に力を入れたことが評価され、今年度の北埼玉地区広報紙コンクールで最優秀賞を頂くことができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

広報部長 山中貴恵

一学期の主な表彰

- 第41回日本空手道研修会 全国選手権大会 中学男子 組手の部 第三位 秋山和寛
- 北埼玉地区新人陸上競技大会 男子共通一〇〇M 第一位 小川祥輝
- 男子一年一〇〇M 第二位 松島大悟
- 北埼玉地区中学校体育大会 女子バドミントン 第二位
- 団体 第一位
- 男子卓球 シングルス 第五位 谷口凜
- 第83回NHK全国学校音楽コンクール 埼玉県コンクール 奨励賞 音楽部
- 第68回埼玉県科学教育振興展覧会 北埼玉地区展 最優秀賞
- 小林夢、久保田、程塚、山中、芹澤、田島、筆、武部、桑原、小林陽、宮本
- 身体障害者福祉のための 第58回埼玉県児童生徒美術展覧会 特選 福島諒平
- 特選 奥貫 渚
- 第51回郷土を描く児童生徒美術展 特選 福島諒平
- 特選 奥貫 渚